

# 福島県立郡山北工業高等学校



# 同窓会報

平成18年2月21日  
第56号

# 2006

発行所 / 〒963-8052  
福島県郡山市八山田二丁目224番  
福島県立郡山北工業高等学校同窓会  
☎ 024 (932) 1199  
FAX 024 (935) 9849

発行者 / 滝田 孝太郎  
編集者 / 浦山 敏  
発行部数 / 18,000部



郡山北工HP <http://www.koriyamakita-th.fks.ed.jp/>

## CONTENTS

会長あいさつ	2
校長あいさつ、新会員のことば	3
平成17年度同窓会定期総会報告	4
支部だより	5~6
特集 野球部OB北嶺会	7
母校近況	8
(生徒会だより、部活動大会成績報告)	
母校近況(進路状況)	9
平成16年度決算報告・会務報告	10
平成17年度同窓会役員名簿・一般寄付者名	11
総会風景・記念写真特集 ゴルフコンペ・事務局だより	12

## 同窓会定期総会開催のお知らせ

平成18年度定期総会を下記のように開催いたします。

●日 時 / 6月24日(土) ●午後5時00分より 総会  
●午後5時50分より 懇親会

●場 所 / 郡山ビューホテル  
郡山市中町3-1 ☎ 024-924-1111

●会 費 / 5,000円(平成17年度卒業生は3,000円)

※詳細については同窓会事務局へお問い合わせください。

同窓会事務局(郡山北工内) TEL.(024)932-1199 FAX.(024)935-9849

※参加は会員であれば自由です。同窓生、同級生、会社の同僚等お誘いあわせのうえ多数ご参加下さいませようご案内申し上げます。  
(参加希望者は、同封された払込取扱票の通信欄の総会費に○をつけて会費を納入ください。)

## 会長あいさつ

同窓会会長 滝田 孝太郎

（西暦1949年度 電気卒）



## 『運動への関わり』

平成十八年、新しい年を迎え同窓会会員皆様の御健勝をお慶び申し上げます。常日頃より同窓会に御協力を頂き熱く感謝申し上げます。平成十七年の同窓会総会に於いて新会長になり、責任の重さを感じております。前会長の増子久治さんには副会長6年間・会長10年間の長きにわたり、公私共々多忙の中で同窓会の発展にご尽力を頂き誠に有難うございました。今後は顧問として活躍され、後輩の指導と御鞭撻をお願い致します。

昨年には会長になってから、東京支部総会、野球部OB北嶺会主催による常総学院高校を招待しての二日間の交流試合、日立支部長の古川秀康さんの北工生の特別授業（有難うございました。）幹事会・三役会・学校評議員会、いわき市のエンジン工場・蒲鉾工場の見学、水戸支部総会出席等の行事に参加しま

した。その中で、古川秀康さんの授業は自分の体験を踏まえた内容で生徒からの反響は大きかった様です。そして、野球部員による交流試合のナインの勇姿に感動を受け、心強く思った一人です。（北嶺会長 吉田典秀さん有難うございました。）

私の「運動への関わり」は、幼児期の祖母に水や御茶を持って行き喜ばれた体験が契機でした。小学校入学前の頃は祖父に小遣い銭をねだり、「今日はこまかいのが（小銭）ないので駄目だ」と言われると、自転車に乗って仕事に出掛ける祖父を一生懸命追いかけて走り、近くの駄菓子屋で札を両替して小遣いを貰った思い出があります。

小学校時代は遊びの黄金期で、近所には先輩・後輩が沢山いて色々な遊びをしたのが運動ではなかったかと思えます。隠れん坊・缶蹴り・ビー玉・パッタ・独楽造り・独楽回しをしたり、杉林に行つてのチャンバラごっこ・紙鉄砲・水鉄砲などの遊びをしました。それに飽き足らず本物に似た物を造り、ビー玉を弾として

的に命中させる遊びもしたものです。小学校の学友の家へ遊びに行つては魚を釣りに、どっこすくい・泥鰌掘り等をして川で水遊びに熱中したものです。

春先は田んぼで三角ベース野球、冬はソリを造つて、山にジャンプ台で滑る楽しさや竹を使って竹スキー、田んぼに水を張らせてスケートも楽しみました。とにかく体を大いに動かして頭も使った分けです。今では走馬燈の様に駆けめぐります。現在の子供達との遊びからは掛け離れており、テレビゲームで育つ年代とは違って自然を相手に山と川で慣れ親しみ、道具を造つて遊ぶのが主流でした。

中学に入学すると、バレーボール部に入部し、その後はバスケット部に入部しました。が、二年生の夏休み前に盲腸になつてしまい休部を余儀なくされました。その後は高校から社会人までバスケットを続け、周囲の人に上手な人が多くいたお陰で実業団の東北大会に出場しました。二十才代になつてからはサッカーを始めました。会社でチームを作りから始め、郡山市の社会人リーグに参加しました。県大会出場まで行った事もあり

三十五才まではボール蹴りに熱中して青春を謳歌しました。その後は仕事の忙しさと子育ての為に運動は余りせず、体重が増えて太り過ぎになつてしまいました。温泉へも通い体を癒す事に専念しました。（体重は六十八kg→八十五kgになつてしまった）。四十四才の一年間は市営のトレーニングセンターで体力作りに励みました。その後

は仕事の関係でゴルフを始め、ラウンドは年十回程度で現在も続けています。それと共に五年前から始めたスイミングで体力作りをしています。クロールで千m、水中ウォークではフォームを変えて約三十分間の運動を続けた事により、その後の体重は六十八kgに戻り健康を維持しています。

「結果として言える事」は、自分の体は自分で守る事が大切だと云う事です。これから高校を卒業される皆さんにも運動する習慣を身に付ける事が肝要かと思えます。同窓会会員の皆様も今からでも結構ですから、自分の出来る事に挑戦して下さい。散歩・ジョギング・水泳等の各スポーツに励み、ストレス解消と健康増進に努めて下さい。

最近、食育と言う言葉が聞かれますが、私は昨年より野菜を自分で作り、新鮮で美味しい物を食べております。トマト・キユウリ・エンゲン・長ネギ・ジャガイモ・カボチャ等、各野菜の成長を楽しみながら野菜中心の食事に心掛けております（御飯に味噌汁・漬物）。最近の子供達は、ハンバーグやスナック菓子等を食べている様ですが、偏食しない様に野菜を多く食べ、バランスの良い食事をした方がいいです。

そして、最後の三つ目は休養です。私の場合は夕食に晩酌をせず、車を運転してスイミングに行く事です。脂肪を燃焼させ、筋力を付ける事でストレスを発散し温泉に浸かって帰宅します。好きな酒は飲まずに就寝するお陰で熟睡して目が覚めております。以前は一週間に一度の休肝日だったのが、現在は特別な事がない限り、週に一回だけ酒を飲む程になりました。運動の話から食事・休養の話に発展してしまいましたが、日常生活の中で重要な事に思われます。

終わりになりますが、平成十八年は郡山北工三十周年の事業があります。昨年、同窓会にご寄付を頂いた皆様には心より感謝と御礼を申し上げますと共に会員各位のご健康とご活躍を祈念し、併せて会員企業の益々の発展と隆盛を祈りましてご挨拶と致します。

# 校長あいさつ

校長 根本源太郎



同窓生の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に多大なる御支援、御協力をいただき各支部の皆様にはたいへんお世話になっております。厚く感謝申し上げます。

在校生は寒風吹きすさぶ八山田の大地で、春を待つ桜の木のもと、勉学に部活動に明日に向かってがんばっております。ふり返りますと今年一年間の生徒達の活躍にも輝かしい成果がたくさんありました。陸上部は県大会、東北大会で大活躍、ソフトボール部は岡山国体で大活躍し、スケート部が冬季に備えた自転車競技で全国高校総体へ出場し、冬季は苫小牧の全国大会へ向けてアイスホッケー愛好会と共にがんばっております。また野球部は春と秋、県中地区の大会で準優勝、高体連の新人体育大会の県大会でバレーボール部は優勝、サッカー部は準優勝、

卓球部は全国選抜へ、弓道部も東北大会で第二位に輝くなど、全国を視野にがんばっております。そして文化系の部活動でも吹奏楽部が、マーチングバンドで復活を目指しがんばっております。また、福島県が全国に呼びかけて開催した「パソコン甲子園」でも三年連続第三位に入賞しました。さらに、宮崎で開催された「高校生ロボット競技大会」へは県代表として活躍し、「高校生ものづくりコンテスト」では県代表を目指し、「若年者ものづくり大会」の自動車整備部門では全国の檜舞台で輝きました。優勝とか県代表にはなれませんが、努力している生徒達はまだまだたくさんおります。生徒達の活躍は、一つの風になり、八山田の生徒に「勢い」をつけ「学校」を熱くしています。就職や進学では順風となりました。

今年と同窓生の皆さんから学ぶ機会を設けました。題して「ようこそ先輩」日立支部長の古川秀康さんと東京支部長の小池芳光さんにお願しました。また安全教育の職員研修会では日立製作所オービィの山崎功さんのご配慮で日立製作所都市開

発グループ安全グループの入江さんと大川さんからご指導をいただく機会をつくることができました。ご多忙のところ本当にありがとうございます。感謝申し上げます。

桃見台の郡山工業高等学校、大槻の郡山西工業高等学校、統合されて八山田の郡山北工業高等学校と郡山市にその歴史を築いてきました。そして北工も本年は創立三十周年を迎えます。この間、就職希望地域も変化しました。平成元年を境に就職者の多くが地元を希望するようになりまし。日立支部長の古川さんが「学校を出てから本場の勉強をしなればならないことを知っているのだろうか」と一抹の不安を投げかけておられました。現代は、事業所のある郡山市から、全国、全世界への仕事場は広まっています。これからも同窓生の皆さんの、ご支援ご指導をよろしく願ひ申し上げます。

この度、我々一同、栄える北工の同窓会へ入会出来ることを、心から嬉しく思います。

三年間の高校生生活を振り返ってみれば、先輩たちが築いて下さった北工の伝統と歴史の上を歩む時間でした。それは後輩の私達から見れば憧れであり、日々の目標でもあり、そして誇りでもありました。勉強に部活に、常に一生懸命取り組み、国家試験や数々の大会で素晴らしい成績を収めた先輩達の姿勢は、良き北工の校風として現在も受け継がれています。私達がそうであったように、これからの後輩達も、その校風をより素晴らしい形で高め、磨き上げていく決意を持ち、必ずや文武共に精進することでしょう。



# 新会員のことば

電気科 遠藤 太



この度、我々一同、栄える北工の同窓会へ入会出来ることを、心から嬉しく思います。

三年間の高校生生活を振り返ってみれば、先輩たちが築いて下さった北工の伝統と歴史の上を歩む時間でした。それは後輩の私達から見れば憧れであり、日々の目標でもあり、そして誇りでもありました。勉強に部活に、常に一生懸命取り組み、国家試験や数々の大会で素晴らしい成績を収めた先輩達の姿勢は、良き北工の校風として現在も受け継がれています。私達がそうであったように、これからの後輩達も、その校風をより素晴らしい形で高め、磨き上げていく決意を持ち、必ずや文武共に精進することでしょう。

卒業後、春からは私達も先輩方の仲間入りさせて頂くわけですが、一同皆、まだまだ未熟な存在です。あれこれ迷う事も多々あると思いますが、どうか温かい目で見守ってくださいませよう、よろしくお願ひ致します。

卒業後、春からは私達も先輩方の仲間入りさせて頂くわけですが、一同皆、まだまだ未熟な存在です。あれこれ迷う事も多々あると思いますが、どうか温かい目で見守ってくださいませよう、よろしくお願ひ致します。

# 「全国高等学校ロボット競技大会」

ロボットの愛称で知られているロボット競技大会は、各地で様々な大会が開催されています。今年度、平 智彦君、渡邊 彰宏君(情報技術科1年)、三瓶駿輔君(化学工学科1年)の3名はアイデアと技術力が勝負の高等学校ロボット競技大会に1年生ながら取り組み、県大会(49チーム参加)で優勝し、宮崎県で開催された全国大会へ参加しましたので、紹介いたします。

この大会は毎年、開催地によって変わるテーマとルールの中で、全国各地の予選大会を勝ち抜いたチームが参加し競い合います。今年度の開催地は宮崎県ということで、「技術と友情の輪」神話の国から未来の技術へ」というテーマが設定されました。具体的には、規定の場所に輪をいくつかけられるかといった輪投げ競技です。

彼ら3名は、高校へ入学し、すぐにロボットの製作等に取り組みましたが不慣れなため困難なことも沢山ありました。しかし仲間と協力し合い、ロボットを完成させ、毎日遅くまで、ロボットの操縦練習と調整に努力した結果、県大会では優勝することができました。初めて望む全国大会では、2回戦まで勝ち上がりましたが、3回戦で敗退してしまいました。操縦者の平君は「今年度の経験を生かし全国上位をねらえるように技術を磨きたい」と焦点は既に来年度へ向けられています。彼らは郡山北工業高校の新たな伝統になるように力強い一歩を踏み出しました。



# 平成17年度 同窓会定期 総会報告

まえ、良いところはさらに伸ばし、よりよい校風を築きあげてほしいとの話がありました。また、ご自身が平成元年に副会長に就かれてから今日まで同窓会に関わってきた歴史をふりかえり、同窓会が同窓生はもとより、在校生、さらには北工を目指す人達にとっても力になれるような存在になってほしいとの希望が述べられました。最後に北工と同窓会の発展を祈念してあいさつを結びました。

## 「校長あいさつ」

平成17年6月18日(土) 午後5時から、ホテルハマツにおいて、平成17年度郡山北工業高等学校同窓会定期総会が百七十余名の参加を得て開催されました。

## 「開会の言葉」

滝田孝太郎同窓会副会長の開会のことばで同窓会定期総会を開会しました。

## 「会長あいさつ」

増子久治同窓会会長より、ご出席の皆様、同窓会に対するご理解とご協力に対して御礼が述べられました。続いて本校の歴史をふりかえり、本校の卒業生は真面目に仕事に取り組みという評価を得ているので、在校生もこれを踏

## 「支部長代表あいさつ」

各支部を代表して水戸支部八代正雄支部長よりごあいさつをいただきました。定期総会に先立って行われたゴルフコンペの感想や、17年度は3支部全てで支部総会が開催される予定であることなどのお話がありました。また北工が創立30周年を迎え、ますます発展することを祈念するとのことをお言葉をいただきました。

最後に東京、日立、水戸の各支部から定期総会に御参加いただいた方々をご紹介いただきました。

## 「議長選出・書記任命」

事務局一任となり、浦山敏事務局長より、議長には北工62年度機械科卒の渋谷建夫氏と北工61年度建築科卒の岩崎洋一氏、書記には北工55年度機械科卒の遠藤仁一氏が提案され承認されました。

## 「議事」

平成16年度庶務報告は、浦山敏事務局長より総会資料に沿って行われ、会務報告、新会員報告、および職員の平成16年度転出者と平成17年度転入者に関する報告がなされたのち、質疑を経て拍手をもって承認されました。

平成16年度決算報告は、片岡宏記事務局会計によつて行

われ、中村弘監事による会計監査報告の後、質疑を経て拍手を持って承認されました。

平成17年度事業計画案は、浦山敏事務局長より提案され、質疑を経て拍手を持って承認されました。

平成17年度予算案は、片岡宏記事務局会計より提案され、質疑を経て拍手を持って承認されました。

役員改選については、選考委員会を開催するため選考委員を選任し、別室にて選考委員会を行い、その後総会に新役員案が提示され、拍手を持って承認されました。新役員は次の方々です。



## 新役員

- |     |       |          |
|-----|-------|----------|
| 会長  | 滝田孝太郎 | 西42電(新)  |
| 副会長 | 古川 弘  | 郡40建(再)  |
|     | 橋本 正喜 | 西42機(新)  |
|     | 添田善一郎 | 北53工化(再) |
|     | 加藤 和夫 | 郡26機(再)  |
|     | 中村 弘  | 西49電(再)  |
|     | 笹山 忠昭 | 北53機(再)  |

また、増子久治前同窓会会長には、顧問としてこれからは同窓会に関わっていただくことになりました。

顧問 増子 久治 郡40定電(新)

## 「閉会の言葉」

古川弘同窓会副会長の閉会のことばで同窓会定期総会を閉会しました。

## 「懇親会」

添田善一郎同窓会副会長の開会のことばのあと、増子久治同窓会会長のあいさつ、ご来賓を代表し校長根本源太郎様、同窓会相談役植田英一様、PTA会長伊藤和宏様よりご祝辞をいただき、教頭高橋春光様の乾杯のご発声により懇親会に入りました。ゴルフコンペの表彰式も行われ、参加者は和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。最後は橋本正喜新同窓会副会長の閉会のことばで懇親会を閉じました。



# 支部だより

## 東京支部



東京支部長  
小池 芳光

### 「支部総会開催」

平成改革も実りの時期を迎える中であつて、昨年は痛ましい事件が多発、今年こそは安心して暮せる年をと願っています。

ここに、平成17年度東京支部の活動状況について報告させていただきます。

隔年開催の東京支部総会は、6月25日上野精養軒に於いて総会と懇親会を実施。

母校から根本校長、同窓会本部の滝田会長・増子顧問・浦山事務局局長、日立支部から古川支部長、水戸支部から八代支部長・山崎顧問と多数のご来賓、臨席のもと38名の出席者となり盛会裡に終えることができました。

1、総会は、活動報告と決算・今後の活動計画など報告・議題を審議し、原案通り承認・可決。役員は新任1名の改選で他は留任し19名でスタートしました。今回の特徴としては、愛

知・日立・水戸の各地区から特別参加があり「同期の絆」をベースに総会を盛り上げようとの参加会員の動きが強く感じられました。

資料も年度別・科別に編集した名簿を配布。これを基に更に活発な同級会や同期会の活動を行って頂き、それを同窓会活動へと拡大発展させて頂きたいと思っております。

東京支部の対象会員数は1084名(05年4月現在)おります。

会員の把握は、本部のデータを基に相互でフォローを続けていますが、残念ながら移転先不明者が増加し84名となっております。そこで皆さんにお願いですが、住所を変更された場合には是非、同窓会本部や支部、友人経由で連絡をとって頂きたいと思ひます。

2、懇親会では、ご来賓の方々から母校の現状や今後の動向、各同窓会本部・支部の活動状況を含めたご祝辞を頂いた後、特別参加の高原三郎氏による乾杯の音頭で宴会に入った。

久しぶりに会った会員の談笑の中、同期毎に近況報告や抱負を全員発表し盛会裡にお開きとなった。きたる1月17日には、母校にて3年生を対象に「特別授

業：ようこそ先輩」の講演を行うよう依頼されており、新しく会員になる後輩達と話し合うことになっていきます。

本年も、同窓会活動の目的実現のため、本部・他支部との交流・親睦を深めつつ、活発な活動を推進して参りたいと思っておりますので、会員各位のご協力をお願い致します。



## 日立支部



日立支部長  
古川 秀康

遺伝学者であるダーウィンの有名な言葉「強いものが生き残るとは限らない。知恵のあるものが生き残るとは限らない。変化

化するものだけが生き残る。」をご存知の方もおられると思いますが、実際に環境の変化に順応できない生物は滅びたわけと同様に我々が直面しているビジネスの世界や生活の中でも実際に世の中の変化、状況に応じて改革できる会社や個人のみが生

き残れるのではないだろうか。とつくづく思うこの頃です。

一方、最近には特に企業や個人の倫理を問われる深刻な社会問題が多く報じられていますが、世の中には変えるべきものと変えてはいけないものが必ずあり、自分で考えて峻別し実行することが求められています。今こそ変わらぬ不

変の「法則」を改めて認識し、それに調和することが大切で、その上で、自分が何をしたいかを自分自身が明らかにし強い実現意欲を持つことが同じように大切ではないでしょうか。前置きが長くなってしまいましたが日立支部の平成17年度の活動状況についてご報告致します。

去る6月4日(土)に日立支部総会を実施しました。当日は学校側から根本校長先生をはじめ、同窓会本部から増子会長、田母神事務局次長、さらに東京支部から小池支部長、水戸支部から石井理事長の皆様方多数の来賓をお招きし盛大に開催しました。

総会第一部では恒例により一年間の活動経過報告及び今後の支部活動方針と計画に関する内容について討議を致しました。第二部の懇親会では来賓の方々よりご挨拶方々、母校の文化系・体育系での活躍を含めた現状や今後の動向、各支部の状況などの報告を頂

きました。懇親会では、故郷での最新の話題、他支部との情報交換そしてレジャーや趣味の話、そして、日立のさくらにちなんだ山川顧問のNHK出演の話題等が花を咲かせ盛会な内に終了することができました。支部活動としては、定例日立支部総会、定年退職者激励会を実施しましたが、OB諸先輩を含めた同窓会の盛り上げと母校及び本部活動への協力を維持していく

為にも、これまで同様、総会と懇親会を継続していくことを会員一同確認致しました。

6月18日(土)に開催された本部総会には小池顧問、佐藤顧問、村上副支部長を含め4名参加させて頂きました。今回は同日に開催された懇親ゴルフ大会にも本支部から初めて参加しましたが少しは大会の盛り上げに寄与できたのではないかと思います。総会では、本部役員諸氏及び来賓の方々からの貴重なお言葉やご報告と根本校長先生からの北工での各方面での輝かしい活動成果の紹介があり、有意義な一時を過ごさせて頂



平成17年度 郡山北工同窓会 日立支部総会

ました。今回は増子会長に代わり滝田会長へのパトントッチが紹介されましたが、増子会長の長年の同窓会発展に対する熱意溢れる活動と数々の功績に改めて感謝するところであります。今後も同窓会本部顧問として永くご指導をいただければと願っています。

昨年は、日立地区への就職希望者を何とか実現したく、会社側に掛け合って求人枠を確保し学校側に応募者を求めましたが求人依頼が遅かったことも重なり、希望者が見つからないという誠に残念な結果となりました。また、昨年の10月7日には、以前から校長先生と約束していた本校での特別授業「ようこそ先輩」の一環として、今後就職活動を迎える在校生に対してOBの一人としての経験談を紹介させていただきましたので、是非共今年も日立地区への就職希望者が現れることを期待したい。講演に対する感想文の中で、気持ち新たに力強い決意を述べられている生徒さんが多数いることに大変心強く、安心致しました。最後になりましたが、母校及び同窓会本部とのパイプをより密にし、支部としての役割を意義あるものとしていきたいと考えておりますので今後とも宜しくお願い致します。母校と同窓会の益々のご発展とご繁栄、そして関係する皆様方

のご健勝とご多幸をお祈りし申し上げます。

### 水戸支部



水戸支部長 八代 正雄

昨年は西どしにあやかり景気も回復しつつ、夏以降株価も上昇し例年になくよい年であったように思います。痛ましい電車の脱線転覆による多数の死傷者・子供の誘拐殺害といったことも発生した。十二月に入り寒波が次々と日本列島を通過し、記憶にない寒さが続いた年でもあった。そして、関東を除いたほとんどの地域で大雪に見舞われ多数の死傷者が発生した。今年の干支は戌です。犬は忠誠心が強く飼い主によく尽くすといわれます。同窓会の皆様も夫々の職場・組織で頑張っていたきたいと存じます。今年こそは景気の上昇と災害のない穏やかな年になりますようお祈り申し上げます。さて、平成十七年度の水戸支部の活動について報告致します。

- 六月四日 日立支部総会出席。(石井理事長)
- 六月十八日 本部総会出席。

- (八代支部長、山崎顧問、橋本副支部長、石井理事長、) 同日のコンペに三名参加。
- (八代支部長、山崎顧問、橋本副支部長)
- 六月二十五日 東京支部総会出席。
- 十月十六日 水戸支部行事開催。

ひたちなか市海浜公園において、県庁、水戸、那珂、佐和、工機ブロック 計十八名の参加により、午前中は雨混じりの悪天候でパーペーキュー大会として午後にはようやく晴れてパターゴルフ大会を開催し、夫々の方々が懇親を深められ有意義な終日でした。(パターゴルフの優勝者は山崎顧問)

- 十一月二十六日 平成十七年度水戸支部総会。グランドホテル武田で開催。十六、十七年度経過報告、会計報告、役員改選と挨拶 十八、十九年度行事計画等 懇親会
- 会員数四十名中二十七名、ご来賓七名出席、総勢三十四名の参加。ご来賓の挨拶は滝田同窓会会長、増子同窓会顧問、学校長は都合で欠席、小池東京支部長、古川日立支部長、田母神同窓会事務局次長

の方々からご祝辞をいただきました。その後、水戸、那珂、佐和、県庁、工機ブロックごとに紹介者もお酒が入り熱弁で紹介され、近況、学校、旧友、故郷、仕事の話し等尽きるころもなく、校歌を斉唱、なごり惜しく、楽しく和やかに無事終了しました。二次会も二十五名参加。カラオケ、ダンス、昔話に花が咲き夜遅くまで楽しんで散会しました。

- 県庁ブロックの紹介 舞木善郎 例年通り、暑氣払いを開催。山崎顧問、八代支部長のお二人を招待して、八月に行いました。橋本ブロック幹事の激励の挨拶に続き、山崎顧問の同窓会状況と近況報告があり、八代支部長の本部同窓会出席の報告と母校の状況を紹介して頂きました。宴も進み、思い出しに花が咲き、更に話題は定年退職と老後の生活についてと発展し、我が県庁ブロックも今年は五名の方が目出度く定年退職しました。第二の職場で元気に勤めています。いつもになく盛り上がり宴会となり笑いあり楽しく懇親を深めました。
- 四月 幹事ブロック引継会
- 六月 本部総会、日立支部総会出席。
- 十月 第3回コンペ開催。

平成十八年一月十六日 山崎顧問・日立製作所水戸工場の入江部長代理・大川センター長の講師により、北工先生80名の方々に、一・水戸事業所における安全管理①安全活動推進状況②マインドアップ運動の展開(基本の徹底)③マネージメントシステムによる安全管理④職場安全実践指導報告、二・危険余地訓練(KYT教育)

- ①グループに分かれての教育実践
- ②グループ討議及び発表
- 三・企業が求めている人材等について講義・講話されました。

根本校長・先生方々は熱心に受講され、グループ討議・発表も堂々として、安全意识も非常に高かったそうです。

最後になりましたが母校の益々のご発展と、同窓会のご発展、ご繁栄、そして同窓会の皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



# 郡山北工野球部OB北領会

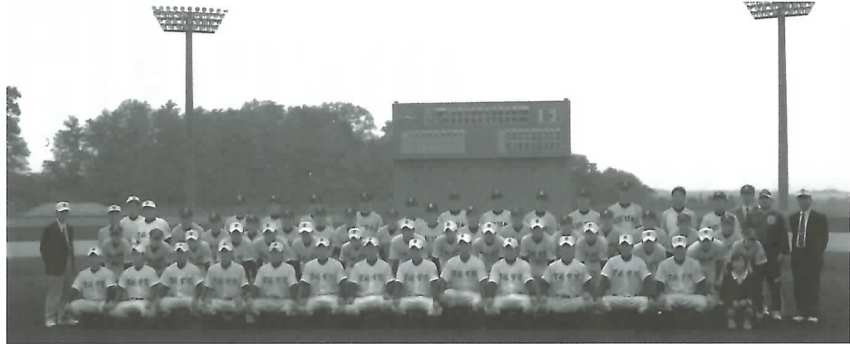
## 「10周年記念事業」

### 常総学院(茨城)との招待試合

昨年に続き、同窓会報に郡山北工野球部OB北領会を載せて頂き有難うございます。また、同窓会滝田会長、古川副会長、増子顧問を始めとして皆様にはOB会発足当時から御協力・ご支援を賜り感謝申し上げます。

OB北領会は、平成17年に10周年を迎えました。会として平成16年の夏より、役員会・理事会を開き10周年記念事業について検討に入りました。各高校での実施状況を参考にし、①有名高校との招待試合を行う。②10周年の歩みを載せた記念誌を発行する。この2点を決定しました。秋には具体的な招待高校の絞り込みを行いました。

実力・実績もある高校で、関東・東北地区、そして北工野球部関係者と繋がりのある高校にする事を決めました。野球部顧問で御退職なされ、現在も指導を頂いている千葉修真先生のご尽力により、春



(選抜)と夏に全国制覇された茨城県の常総学院高校と決定する事が出来ました。県内からは、OB北領会設立の時に世話を受けた郡山商業高校、北工甲子園出場時の加藤仁一郎監督と繋がりのある斎藤智也監督が率いる県下最強の聖光学院高校と決定しました。

### 試合結果

10月15日(土)	郡山北工	3-4	常総学院
	郡山商業	1-10	常総学院
10月16日(日)	郡山北工	3-5	常総学院
	聖光学院	1-1	常総学院

招待試合は、10月15日(土)、16日(日)に実施されました。両日とも天候が心配されましたが、選手・OB会員全員の力を結集して最良のグラウンドコンディションの中で試合が出来ました。また、球場には多くの少年野球・スポーツ少年団等の子供達が観戦に来て頂きました。さらに、野球部保護者会の心温まる御茶、豚汁などの御支援があり感謝しています。

北工野球部には常総学院戦から野球に取り組み姿勢を学び、選手・指導者が自分の足りない

### 野球部OB北領会役員

役名	氏名	期	役名	氏名	期
会長	吉田典秀	1期	会計	三瓶康章	20期
副会長	佐藤幸永	2期	監査	渡辺茂男	1期
副会長	長尾宗典	10期	監査	伊藤幸夫	8期
理事長	小松山伸一	2期	事務局長	添田善一郎	2期
副理事長	熊田孝一	12期	事務局	渋谷健夫	11期
会計長	折笠利浩	2期	事務局	今泉健太郎	13期
会計	佐藤輝男	3期	事務局	大和田聡	17期
会計	土屋賢太	15期			



点を明確にして練習に取り組んで貰いたい。そして、常に県大会ベスト8に残るような基盤を作りあげ、2度目の甲子園出場を実現させて下さい。

最後に、今まで同様、同窓会の皆様と共に北工の発展と野球部の支援に努めて参ります。

郡山北工野球部  
OB北領会会長  
吉田 典秀

**都市再生のための出発点!!**

**SHINTAKU 株式会社 新 拓**

代表取締役社長 佐藤 吉雄

郡山市安積町荒井字加正36-2  
TEL (024) 945-0801 FAX (024) 945-9718

本格派中国料理

**龍宮城**

代表取締役社長 橋本 正喜  
(昭和42年度機械科卒)

安積店 / 〒963-0107 郡山市安積4丁目38  
TEL (024) 946-3171 FAX (024) 946-3107  
西ノ内店 / 〒963-8022 郡山市西ノ内1-13-9  
TEL (024) 939-4649 FAX (024) 939-4655  
http://www.ryugujyo.co.jp/  
E-mail info@ryugujyo.co.jp

●送迎バスもありますのでご相談下さい。

民間車検場  
車のコンサルタント

**CAR SERVICE SHOP**  
SINCE 1982  
Soete  
The garage you can trust for reliability and high quality

車のことなら  
おまかせください

各種新車・中古車販売・車検整備  
板金・焼付塗装  
クレーン・レッカー作業

**有限会社 ソエタ自動車**

代表取締役 添田善一郎

〒963-1304 郡山市熱海町安子島字対面1-27  
TEL (024) 984-3350  
FAX (024) 984-3123

# 生徒会だより

## 今年度の生徒会活動状況を報告します。

5～6月に行われました高校総体では多くの部活動が県大会、さらに上位大会へと出場し活躍しました。詳細は大会成績報告をご覧ください。

7月には、校内球技大会が行われました。2日間天候に恵まれ、白熱した試合展開が行われました。

9月には生徒会役員改選が行われ、新生徒会長に機械科2年の岩谷 司が就任し、以下十五名の新役員を迎え、十六名のメンバーで新たなスタートを切ることとなりました。11月には今年度より新たに校内体育祭を企画し、クラス対抗綱引きや2人3脚リレーなどの種目を通し、クラスの結束はますます強まったと思います。

校内ミニ文化祭では、各科の展示に加え、ステージ発表では吹奏楽部の演奏や、相撲ロボット大会、ロボット競技大会、ものづくりコンテスト等の大会参加報告がビデオ上映や実演を交えて発表され文化部の活動も活発に行われていることが分かりました。

今年度を振り返ると、文化

部、運動部ともに活躍が目覚ましく、日頃の練習の成果を十二分に発揮したと思います。来年度は北工創立30周年ということで、記念行事に向けて生徒会でも様々な企画を検討しているところです。

**HIT'S** シーリング・防水資材販売  
MATERIAL CO.,LTD. 省力化機器設計、製作

**ヒツマテリアル株式会社**

代表取締役 笹山 仁  
常務取締役 笹山 真宏 (西51電)  
専務取締役 笹山 忠昭 (北53機)

福島県郡山市笹川二丁目1番地の4  
TEL.024-947-5805 FAX.024-947-5804



### 平成17年度

## 部活動大会成績報告

#### 野球部

- 第87回全国高等学校野球選手権福島大会 …… 2回戦進出
- 第57回秋季高等学校野球県中地区大会 …… 準優勝
- 第67回春季東北地区高等学校野球県中地区大会 …… 準優勝

#### バレーボール部

- 第51回福島県高等学校体育大会県南地区大会 …… 第1位
- 春季県南バレーボール選手権大会 …… 第1位
- 第49回福島県高等学校新人大会 …… 第1位
- 第58回福島県総合体育大会 …… 少年男子 …… 第3位

#### サッカー部

- 平成17年度福島県高等学校新人大会 …… 第2位
- 第6回東北高等学校新人サッカー選手権大会出場

#### ラグビー部

- 第44回郡山市民体育祭ラグビー競技 高校の部Aブロック …… 優勝
- 高校の部Bブロック …… 第2位

#### 弓道部

- 第21回福島県南高等学校弓道大会 …… 男子団体 …… 第1位
- 平成17年度新人戦福島県大会 …… 矢野康文 …… 第2位

#### 陸上部

- 第51回福島県高等学校体育大会県南地区大会
  - 円盤投げ …… 柏原満邦 …… 第1位
  - 400mH …… 遠藤昌人 …… 第1位
  - 400M …… 遠藤昌人 …… 第3位
  - 走幅跳び …… 矢田部辰志 …… 第3位
- 第60回県南陸上競技選手権大会
  - 円盤投げ …… 柏原満邦 …… 第2位
  - 男子B …… 200M …… 宇野 旭 …… 第2位
  - 走幅跳び …… 矢田部辰志 …… 第3位
  - 100M …… 佐藤悠司 …… 第3位
  - 三段跳び …… 矢田部辰志 …… 第3位
- 第58回福島県総合体育大会 …… 男子B …… 200M …… 宇野 旭 …… 第2位

#### 水泳部

- 第51回福島県高等学校体育大会 …… 1500M自由形 吉田寛人 …… 第2位
- 400M自由形 吉田寛人 …… 第2位

#### 剣道部

- 第44回郡山市民体育祭剣道大会 …… 高校1年男子の部 …… 遠藤大樹 …… 優勝

#### 卓球部

- 第58回福島県総合体育大会県中地区大会 …… 少年男子団体 …… 第2位

#### ソフトテニス部

- 第51回福島県高等学校体育大会 …… 男子団体 …… 第3位
- 第58回福島県総合体育大会県中地区大会 …… 佐藤貴昭 廣瀬友己 …… 第2位
- 第3回福島県春季ソフトテニス大会 …… 男子団体 …… 第3位

#### 柔道部

- 平成17年度福島県南高等学校体育大会 …… 先鋒の部 …… 佐藤拓也 …… 第3位

#### ソフトボール部

- 第51回福島県高等学校体育大会 …… 第2位
- 第58回福島県総合体育大会 …… 少年男子 …… 第1位

#### バスケットボール部

- 平成17年度福島県新人大会県南新人大会 …… 優勝

#### スピードスケート部

- 第51回福島県高等学校体育大会スケート競技10000M・1500M
  - 佐藤健司 …… 第1位
  - 1000M 宗像幸宏 …… 第1位
  - 学校対抗 男子 …… 第1位
- 第58回福島県総合体育大会スケート競技大会 …… 1000M 佐藤健司 …… 第1位
- 1500M 佐藤健司 …… 第1位
- 第61回国民体育大会冬季大会 スケート競技 少年男子 5000M 佐藤健司 …… 第6位

#### アイスホッケー愛好会

- 第55回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会出場

#### テニス愛好会

- 第58回福島県総合体育大会テニス競技県南地区大会
  - Ⅱ部シングルス 橋本祐太 …… ベスト8
  - Ⅱ部ダブルス 橋本祐太 新田秋弘 …… ベスト8
- 第39回福島県高等学校新人テニス選手権大会県南地区大会 学校対抗戦 …… 第5位

#### 吹奏楽部

- 第18回全日本マーチングコンテスト福島県大会出場

#### 囲碁将棋部

- 第19回東北地区高等学校囲碁選手権大会 …… 大山穂高 …… 第2位

#### 工業科

- 第13回全国高等学校ロボット競技大会福島県大会
  - 平智彦 渡辺彰宏 三瓶駿輔 …… 優勝
- 第13回全国高等学校ロボット競技大会全国大会
  - 平智彦 渡辺彰宏 三瓶駿輔 …… ベスト32
- パソコン甲子園2005 デジタルコンテンツ部門 松本政成 渡辺和宏 …… 第3位



# 進路状況

## 「社会的信頼性」という伝統を引き継いで

進路指導主事 鈴木倫子  
今年もまた、郡山北工の生徒が社会に飛び立つ頃となりました。

今年度の就職活動状況を振り返ると、当初の予想よりも求人状況が良く、生徒達の動きも活発だったために大変良い内定状況となりました。(詳細は別表をご覧ください。)オリンピックのために鉄鋼関係からの求人が急増し、また、自動車産業で景気回復が見られたために、自動車関連企業も求人を増やしました。さらには、増産のための設備投資の関係から機械部品関連でも仕事が増え、製造業で景気回復が見られました。本校への求人でも強かったのは、機械科・電気科・電子科の要望でした。

今年度は、なお一層、同窓生からの多大なご支援をいただきました。『卒業生との懇談会』は例年の行事として定着し、各科の特徴を活かして、大変有意義なものとなっております。更に、今年度は、特別授業『ようこそ先輩』という新企画や外部講師講座などで、県内外から郡山工業高校、郡山西工業高校時代の卒業生においていただき、御講演を御願ひ致しました。どの方も、御自分の生き方を切り開いて各方面でご活躍されているその体験を、後輩の郡山北工在学時に熱く語ってくださいました。生徒たちはともすれば高

校卒業時の進路先決定がゴールのように考えがちですが、(これからが本当の勉強、本当の人生開拓、という先輩からのメッセージは、生徒の胸に大きく響き、自分の行く手に光を見出さんとする姿がありました。また、一方では、企業の中で堅固の存在でいらつしたり、直接に北工卒業生の指導を担当してくださったたり、というような関わりで様々な御指導いただいていることは数多くあります。県内外を問わず、「北工同窓生が活躍しているの、是非後輩を。」というお話を頂戴する機会は一層頻繁になりました。

さて、進学についても、昨年度に引き続き、日本大学工学部への多数合格を初めとして、国公立大学への合格もよい結果となりました。生徒本人の努力には感心させられることもあります。また、進学指導では、課外授業に力を入れて基礎力のアップと受験実力の強化を充実させていること、希望学校別に対策を立てて指導していること、個別指導に教師全員がそれぞれ分野で力を入れていることなど、教師集団の連携が工夫されてきていることも要因となっているかと思われれます。試行錯誤しながら、生徒の進路希望が一層多岐に渡る傾向に対処して参りたいと思います。

今年度も一層、同窓生皆様から御指導、御支援をいただきましたことに深く感謝申し上げます。更に、新しく社会に巣立っていく後輩に、折あらば叱咤激励を賜りますよう、お願い申し上げます。

福島県立郡山北工業高等学校進路指導部  
平成18年 1月31日現在 ( )は女子内数

### 平成17年度進路内定状況

科	機械		電気		電子		情報		建築		環境		化工		合計	
	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
在籍数	80	39	40	39	(7)	42	(7)	40	(8)	38	(14)	318	(36)			
就職希望者数	48	21	25	8	(4)	18	(4)	30	(5)	28	(10)	178	(23)			
就職内定数	県内	41	17	21	5	(3)	11	(2)	22	(3)	24	(9)	141	(17)		
	県外	6	3	1	1	3	4	(2)	3	0	0	21	(2)			
	公務員	1	0	3	2	(1)	2	(1)	1	0	0	9	(2)			
	合計	48	20	25	8	(4)	18	(4)	28	(5)	27	(9)	174	(22)		
就職未定	0	1	0	0	0	0	0	2	2	1	(1)	4	(1)			
進学希望者	大学	32	18	15	31	(3)	22	(2)	10	(3)	10	(4)	138	(12)		
	短大	13	8	5	16	10	(1)	3	4	59	(1)					
	準大学	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	5				
	訓練校	12	5	1	2	3	0	0	0	0	0	23				
	専門	7	3	7	11	(1)	2	(1)	3	(1)	5	(3)	38	(6)		
合計	32	16	14	28	(1)	17	(2)	7	(3)	6	(4)	120	(10)			
進学未定	0	2	1	3	(2)	5	3	4	18	(2)						
その他(不定)	0	0	0	0	0	2	(1)	0	0	0	2	(1)				
総計	80	39	40	39	(7)	42	(7)	40	(8)	38	(10)	318	(36)			

### 産業別内定状況

産業別	機械		電気		電子		情報		建築		環境		化工		合計	
	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
建設			8	1					8	1	6	1			22	3
製造	38	4	5	16	1	2	1	2		15	2	23	2	101	10	
電気ガス		1	1											2	0	
運輸通信	1	2							1				1	1	4	
卸・小売	1		1	1	1	3		1	1					8	0	
金融保険									1					1	0	
飲食・宿泊														1	0	
医療・福祉					1									2	0	
サービス			2	2	3				1	1	1	1		7	4	
公務	1			2	1	2	2	1	2	1				4	5	
合計	42	6	17	3	23	2	5	3	13	5	24	4	24	3	148	26

### 職業別内定状況

職業別	機械		電気		電子		情報		建築		環境		化工		合計	
	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
専門的・技術的職業	6	3	5	2	2				5	2	3	1	1		22	8
管理的職業																
事務的職業					2				2		1		1		6	
販売的職業							1	3	1						5	
サービスの職業					1	1			1	1		1	1		3	3
保安的職業																
運輸通信の職業	1				2	1			2	2	1				4	5
金属材料															1	
化学製品・窯業																
金属加工・機械器具	2				3				1	2			11	2	19	2
電気機械器具	18	2	2		3	1	1			9	1	5		38	4	
輸送用機械・光学機器	7				6		1			3		2		19		
その他の製造			2	2	1			1		1		1	3	6	1	
定置機関・電気	5		1		2				1	1	1	3		13	1	
その他労務														6		
合計	42	6	17	3	23	2	5	3	13	5	24	4	24	3	148	26

### 求人件数(求人票枚数) 下段は前年度同期

県内	249	県外	540	合計	789
県内	245	県外	394	合計	639



### 進路内定率 下段は前年度同期

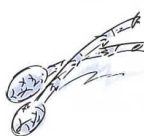
就職	97.75%	大学進学	92.19%	短大その他	95.95%
就職	92.63%	大学進学	97.40%	短大その他	96.60%

### 4年制大学合格状況(過去3年間)

大学名	平成15年	平成16年	平成17年
岩手県立大学			
山形大学 工学部	1	3	3
新潟大学 工学部	1		1
福島大学		2	
会津大学		3	3
千葉大学		1	
道都大学			1
青森大学	1		
八戸大学	1		1
八戸工業大学	1	4	1
石巻専修大学 工学部	1		
東北工業大学	2	1	2
東北学院大学	1		
東北福祉大学	1		1
東北公益文科大学		1	
仙台大学	2		
日本大学 工学部	26	40	35

大学名	平成15年	平成16年	平成17年
日本大学 生産工学部			1
いわき明星大学		3	2
東日本国際大学			
足利工業大学	1	1	
日本工業大学	10	3	1
東海大学		1	
文星芸術大学		1	
東洋大学 工学部		1	
金沢工業大学 工学部	1	1	1
国士舘大学		1	
国際武道大学	1		
東京電機大学	1	1	
群馬社会福祉大学			
城西国際大学	1		
日本体育大学			1
関東学院大学		2	1
関東学院大学	1		1

大学名	平成15年	平成16年	平成17年
大正大学			
白鷲大学			1
拓殖大学			1
上武大学		1	
城西大学		1	1
神奈川工科大学		2	
新潟工科大学			
静岡産業大学			
中央学院大学			
洗足学院音楽大学	1		
湘南工科大学 工学部	2	1	1
日本女子大学(短期部)	1		
郡山女子大学短期大学		1	3
いわき短期大学			1
新潟工業短期大学		1	
東京交通短期大学			1



### 平成16年度 決算報告

1 収入総額 5,050,785円      2 支出総額 4,239,147円      3 差引残高 811,638円

#### 1.収入の部

項目	予算額	決算額	増 △減	備考
繰越金	627,246	627,246	0	
入会金	1,920,000	1,920,000	0	入学生320人×6,000
会費	2,154,000	2,136,000	△ 18,000	卒業生356人×6,000
会誌広告料	200,000	60,000	△ 140,000	3社
一般寄付	200,000	307,525	107,525	
雑収入	0	14	14	利子
合計	5,101,246	5,050,785	△ 50,461	

#### 2.支出の部

項目	予算額	決算額	残 △不足	備考
基本金	407,400	405,600	1,800	入会金・会費×0.1
会議費	500,000	387,550	112,450	三役会 幹事会
事務費	70,000	65,830	4,170	プリンターのインク等他
慶弔費	150,000	55,580	94,420	弔電 会費等
通信費	1,600,000	1,504,827	95,173	会誌(55号)送料等
旅費	230,000	211,400	18,600	本部・日立・水戸
会誌編集費	700,000	696,990	3,010	会誌(55号)印刷
渉外費	100,000	38,585	61,415	関係機関との交渉諸費
卒業生諸費	250,000	246,132	3,868	卒業記念品 会長賞
事務局費	120,000	63,425	56,575	事務局会会議費
北嶺祭	50,000	50,000	0	
支部助成金	180,000	180,000	0	東京・日立・水戸
学校案内助成	50,000	50,000	0	学校案内印刷
総会費	350,000	283,228	66,772	総会補助
予備費	343,846	0	343,846	
合計	5,101,246	4,239,147	862,099	

3.差引残高 ¥811,638 は次年度へ繰り越します。

### 平成16年度 基本金報告

定期預金	4,984,509	大東銀行定期預金
平成16年度入会金・会費の1割	405,600	大東銀行定期預金
合計	5,390,109	

### 平成16年度会計監査報告

平成17年3月31日の監査の結果異常のないことを認めます。

会計監査 加藤和夫  
中村弘  
笹山忠昭

### 平成16年度 会務報告

年月	行事名	内容等	場所
H16 4.8 4.9	平成16年度入学式 幹事会	会長・副会長出席 平成16年度定期総会について	学校 ホテルハマツ
5.20	幹事会	平成16年度定期総会について	龍宮城
6.7 26	平成16年度定期総会 日立支部総会	校長、会長、副会長、事務局 計4名出席	郡山ビューホテル アネックス ひたちなか市
9.3	幹事会	定期総会反省会	ホテルハマツ
12.3	幹事会	今後の活動方針について (平成17年度定期総会、同窓会報の 内容等について)	郡山ビューホテル
H17 2.22 28	同窓会報(55号)発行 同窓会入会式	顧問、会長、副会長、監事 出席	学校
3.1 3	平成16年度卒業式 同窓会報(55号)発送	会長、副会長 出席	学校
3.31	会計監査	平成16年度会計	龍宮城

### 平成16年度までの卒業生総数

福島県立郡山工業高等学校 昭和19年9月～昭和52年3月	福島県立郡山西工業高等学校 昭和38年4月～昭和52年3月	福島県立郡山北工業高等学校 昭和52年4月～平成17年3月
<b>全日制</b> 機械科 2,570名 電気科 852名 電子科 741名 建築科 1,114名 工業化学科 565名 <b>定時制</b> 機械科 357名 電気科 222名 建設科 140名 産業科 74名	<b>全日制</b> 機械科 1,114名 電気科 1,059名 化学工学科 999名	<b>全日制</b> 機械科 3,101名 電気科 2,162名 電子科 1,115名 情報技術科 1,037名 建築科 1,110名 環境システム科 307名 化学工学科 2,147名 工業化学科 83名 <b>定時制</b> 工業科 167名 機械科 207名 電気科 184名 建設科 32名
小計 6,635名	小計 3,172名	小計 11,652名
合計 21,459名		

### 職員異動報告

#### 平成17年度人事異動にともなう転入者

No.	職名	氏名	教科	前任校
1	教頭	根本和次	電子	白河実業高校
2	教諭	内田貞夫	電気	清陵情報高校
3	教諭	大森茂信	国語	清陵情報高校
4	教諭	白井調明	英語	二本松工業高校
5	教諭	平栗吉勝	環シ	二本松工業高校
6	教諭	長谷沼徹	建築	勿来工業高校
7	教諭	鈴木稔	電気	教育センター
8	教諭	大森茂	英語	郡山明世高校(通)
9	教諭	渡辺毅郎	国語	復帰
10	教諭	押久保正行	英語	湖南高校
11	教諭	深澤剛	情技	勿来工業高校
12	教諭	斎藤洋	工	勿来工業高校
13	実習教諭	高荒昭夫	建築	福島工業高校(定)
14	常勤講師	鈴木康雅	電子	
15	常勤講師	鈴木武環	シ	
16	事務長	熊田次喜		田村高校
17	主査	佐藤浩子		三春土木事務所
18	非常勤職員	遠藤孝夫		

#### 平成16年度人事異動にともなう転退職者

No.	職名	氏名	教科	転出先
1	教頭	和田一郎	電子	福島工業高校
2	教諭	千葉甲子	化工	退職
3	教諭	佐久間俊博	電子	会津高等技術専門校
4	教諭	甲賀重寿	電気	郡山高等技術専門校
5	教諭	厚海肇	電気	福島県高等学校教職員組合専従
6	教諭	角田いつる	国語	田村高校
7	教諭	阿部孝一	英語	郡山明世高校(通)
8	教諭	羽田孝明	英語	須賀川桐陽高校
9	教諭	新田友喜	英語	葵高校
10	教諭	佐藤恒夫	情技	福島工業高校
11	教諭	大越忠士	建築	福島工業高校
12	教諭	中村政良	環シ	福島工業高校
13	教諭	小林幸治	化工	小高工業高校
14	実習講師	今野澄夫	電子	勿来工業高校
15	常勤講師	坪井研	国語	退職(郡山明世高校(通))
16	常勤講師	松本聡二	英語	退職(田村高校)
17	常勤講師	渡辺喜充	数学	退職(安積高校)
18	常勤講師	松山雅行	環シ	退職
19	常勤講師	齋藤清夫	機械	退職
20	実習助手	伊能亮太	建築	退職(勿来工業高校)
21	事務長	浅倉秀雄		退職
22	主事	高橋貴美		県中農林事務所
23	主任職員	熊田一郎		安積黎明高校
24	事務補助職員	佐藤美希		退職

環境に配慮した  
「新しい印刷」を追求します。

■ISO 14001 .....2003年6月25日取得 ●FSC認証紙  
 ■FSCのCoC認証 .....2005年1月20日取得 ●大豆インキ  
 ●水なし印刷

●総合印刷 ●マルチメディア ●ビジネスソリューション  
**株式会社**  
**ヨシダコーポレーション**  
 〒983-0724 福島県郡山市田村町上行合字北川田22-1  
 TEL.(024)942-0005(代) FAX.(024)942-2233  
 URL http://www.media-yoshida.co.jp



## 平成17年度 同窓会役員名簿

	氏名	勤務先	卒年度科
相談役	植田英一	前県会議員	
顧問	渡辺達英	(有)渡達	郡24機
〃	増子久治	田村通信防災工業(株)	郡42定電
会長	滝田孝太郎	(株)ワールドジャーナル	西42電
副会長	古川弘	(有)古川弘建築設計室	郡40建
〃	橋本正喜	中国レストラン龍宮城	西42機
〃	添田善一郎	(有)ソエタ自動車	北53工化
監事	加藤和夫	(社)福島県計量協会	郡26機
〃	中村弘	郡山演劇鑑賞会	西49電
〃	笹山忠昭	ヒツマテリアル(株)	北53機

幹事	落合弘		(卒年度順)
〃	佐藤実	佐藤実建築設計事務所	郡32機
〃	泉田定信		郡33建
〃	石田秀夫	東北化学工業(株)郡山工場	郡34電
〃	渡辺俊彦	(株)郡山中央レンタカー	郡39定機
〃	伊勢野敏雄	(株)うすい百貨店	郡40定機
〃	渡辺千尋	あさか開成高等学校	西43電
〃	佐久間保一	結建築研究室	西43化工
〃	矢部重光	清陵情報高等学校	郡46建
〃	柳沼信一	(有)県南通信サービス	郡48子
〃	竹中広之	(有)竹中電気	西49電
〃	佐々木郁雄	福島工業高等学校	郡50定電
〃	西館丈志	JR東日本(株)	西50機
〃	大内菊夫	山崎製パン(株)郡山営業所	郡50定電
〃	吉田典秀	林精器製造(株)	北51定電
〃	本田文一	会津工業高等学校	北52機
〃	小松山伸一	郡山地方広域消防組合	北52子
〃	長尾進	福島トヨタ自動車(株)	北53機
〃	吉成広幸	JT郡山工場	北53機
〃	斎藤均	JT郡山工場	北53機
〃	大原英雄	(株)ハイネット21	北53化工
〃	影山春男	清陵情報高等学校	北56電
〃	浦井照夫	清陵情報高等学校	北59機
〃	國道美行	清陵情報高等学校	北59機
〃	佐藤伸宣	関彰商事(株)	北61化工
〃	渋谷健夫	(有)シブヤ	北62機
〃	今泉健太郎	(株)香設計	北1機
〃	宗方信恵		北6子
〃	大内幸恵	(有)桑原工務店	北6建
〃	千葉祐子		北6建

企業内支部長	三本木覚	(株)朝日ラバー	北62機
〃	大谷元宏	(株)アルゴ研究所	北53子
〃	橋本孝行	石橋工業(株)	郡50機
〃	宗像文雄	(株)エディソン	郡50電
〃	平栗俊昭	郡山ビューホテル(株)	北52工化
〃	本田昇意	コマツ福島(株)	北54機
〃	橋本政夫	(株)ザイン	北55機
〃	熊田晃大	白沢建設(株)	北54建
〃	佐藤芳晴	須賀川プレジジョン(株)	郡49機
〃	今泉恵一	(有)セイフティープラン	北54電
〃	郡司昌幸	田村通信防災工業(株)	北11電
〃	安齋文男	テレコム機器(株)	西41電
〃	千葉利行	日本化学工業(株)	西42電
〃	柳沼幸代	八光建設(株)	郡51建
〃	青木博泰	林精器製造(株)	北52機
〃	岩崎洋一	ハマツ観光(株)	北61建
〃	七海孝夫	ヤマキ電気郡山事業所	北53電
〃	菅井貞夫	(株)ヨシダコーポレーション	西46化工

事務局 局長	浦山敏	郡山北工業高等学校	北52機
事務局 次長	田母神三知夫	郡山北工業高等学校	郡43機
〃	柳沼善久	郡山北工業高等学校	郡51子
会計	片岡宏記	郡山北工業高等学校	北58化工
事務局 員	達崎守	郡山北工業高等学校	西40電
〃	渡辺正一	郡山北工業高等学校	郡49工化
〃	熊田志郎	郡山北工業高等学校	郡49工化

同窓会支部長	東京支部長	小池芳光	(株)興栄製作所	郡27機
〃	日立支部長	古川秀康	(株)日立製作所	郡41機
〃	水戸支部長	八代正雄		郡34電

## 平成17年度 一般寄付者名

ご寄付ありがとうございました

氏名	卒年度科	氏名	卒年度科
先崎智久	北12機	田村市	
渡部貞夫	郡40子	郡山市	
伊藤紀夫	郡43電	東京都	
渡辺孝雄	郡37機	郡山市	
鈴木久	北57電	郡山市	
橋本定樹	郡45機	田村市	
田中良夫	郡41機	栃木県	
山崎功	郡29機	茨城県	
石井忠彦	郡37機	茨城県	
高原二郎	郡27機	愛知県	
渡谷茂文	郡30機	東京都	
安田栄	郡27機	神奈川県	
有賀常民	郡36機	埼玉県	
儀同勉	郡47建	千葉県	
国分敏行	郡46定機	田村市	
二瓶義正	西50電	千葉県	
横田陸夫	郡32建	岩手県	
酒井利夫	郡47建	神奈川県	
渡邊義人	郡29機	埼玉県	
(匿名)	郡37建	埼玉県	
松崎政雄	郡41子	田村市	
伊藤文博	北15子	郡山市	
安藤喜勝	西42電	須賀川市	
村越栄二	北52子	埼玉県	
柳沼喜七	郡40建	神奈川県	
宗像厚	北52建	郡山市	
井上安邦	郡40建	神奈川県	
吉田福三	郡33機	神奈川県	
添田善一郎	北53工化	郡山市	
佐藤和夫	西48機	神奈川県	
坂野勇一	郡23機	東京都	
畑吉春	郡29機	東京都	
竹中広之	北50定電	郡山市	
渡辺英夫	北63建	郡山市	
小池芳光	郡27機	神奈川県	
金田義明	郡36機	東京都	
黒田勝三	郡31機	茨城県	
渡辺正春	郡48建	千葉県	
吉田喜美夫	郡31機	神奈川県	
安藤正信	郡42機	神奈川県	
前場修平	4機	矢吹町	
田村信平	13建	郡山市	
菅野弘士	郡34機	神奈川県	
高木洋一	郡29機	埼玉県	
関茂彦	郡40機	千葉県	
石井茂	郡29機	茨城県	
八代正雄	北34電	茨城県	
佐々木博	北63電	郡山市	
兼田正男	西46電	神奈川県	
伊藤雅紀	北62電	三重県	
小池征男	郡34機	茨城県	
石井敏男	郡35電	神奈川県	

## 一般寄付のお礼とお願い

55号会報の発送にあわせて一般寄付のお願いをいたしましたところ、多くの皆様よりご寄付を頂戴いたしました。誠にありがとうございました。寄付金は同窓会運営のために有効に使わせて戴きます。

平成17年3月に55号会報を皆様にお送りしましたが、例年のごとく宛所不明で200通以上が戻ってきてしまい、同窓生で連絡が取れない方々が5,000名を超えてしまいました。事務局ではこれらの方々の連絡先を、役員をはじめとする皆様のご協力を得て調べましたところ、約80名の方々については判明いたしました。このような状況も北工創立30周年にあわせて10年ぶりに名簿を作成しようという要因になったわけですが、これらの作業を通して連絡先が判明する同窓生もかなりの数になるものと期待しています。このため、おそらく次号の会報の発送数は今回を上回り、それに伴い発送費用もふくらむものと考えられます。このような状況でするので、本年度もまた同窓生の皆様にご寄付のご協力を賜りたく、郵便払込取扱票を同封させて戴きます。

ご寄付戴ける方は、払込取扱票の金額、ご依頼人の欄および通信欄をご記入のうえ郵便局にて払い込み下さるようお願いいたします。

また郵便払込取扱票は、定期総会に参加される方が会費を納入する場合にもご使用戴けます。その際は必ず通信欄の総会参加費に○をつけて払い込み下さるようお願いいたします。

## 営業品目

火災報知設備・構内交換電話設備・消火設備  
防火排煙設備・非常用放送設備・テレビ共聴設備  
消火器・防犯設備・以上に附帯する一切の業務

## 田村通信防災工業株式会社

代表取締役 増子久治 (昭和42年度電気科卒)

郡山市安積町荒井字下北井前4-1

☎ (024)945-2882(代) FAX (024)946-2875

E-mail: tamura-t01@isis.ocn.ne.jp

## 総会風景



## 記念写真 特集



北工校歌碑  
(第1回卒より寄贈 (S53年3月))



北工10周年記念事業  
(校門の寄贈 (S59~S61年度卒より))



H4.人文字コンテストに応募、最優秀チームワーク賞  
(H5.3月18日 FCT「木曜日スペシャル」で放映)



北工20周年記念事業  
(生徒・職員による人文字 (H8年))



郡工・西工の校歌碑移転  
(20周年記念事業 (H8年))



定時制沿革碑の建立  
(定時制の開課程 (H14年3月))



生徒の登校風景



体育の授業風景

## ゴルフコンペのご案内

- 平成18年度も定期総会当日にゴルフコンペを開催いたします。多数の参加をお待ちしております。参加をご希望される方はコンペ幹事まで御連絡ください。
- 日 時：平成18年6月24日(土)
- 定 員：40名
- 申 込：コンペ幹事 笹山忠昭(ヒッツマテリアル株式会社)北53機  
TEL.024-947-5805 FAX.024-947-5804



## 事務局 だより

今年度も皆様のご協力により会報を発行することができました。心より感謝申し上げます。さて、同窓会では北工創立30周年に合わせ、10年ぶりに会員名簿を発行すべく準備しております。昨年末、会員の皆様には、名簿作成の委託先である株式会社サフトを通じて、同窓会が管理している同窓生データの内容を確認していただくために、あわせて名簿への掲載の可否をお尋ねするためにハガキをお送りいたしました。そのおりに所在が分からない方々の情報提供をお願いしましたところ、多くの方々からご協力を賜りました。紙面をお借りして御礼を申し上げます。関連して、今回の会報発送につきましては、名簿作成が未だ準備段階でありますことから、提供いただいた情報が十分に反映されていない恐れがあることを申し添えます。もしお知り合いの方で住所を知らせたはずなのに会報が届かないということがございましたら、事務局まで御連絡いただけますようお願いいたします。最後に、会員名簿に関する問い合わせにつきましては、0120-981-624 受付No.(60914)で受け付けておりますのでよろしくお願いたします。